2026 年度研究論文指導概要

通信教育部事務室

2026 年度に「研究論文指導」を履修して研究論文を作成しようとする学生は、2025 年度中に選考に合格し、指導教員を決定しておかなくてはなりません。その手続きを以下に記しますので、よく読んで見落としのないようにしてください。

1. 科目概要

何らかの問題意識をもち、自らそのテーマに対して課題を設定し、それに答えようとする学生を対象とした科目です。担当する教員のもとで、それぞれのテーマに沿った分析や論述についてアドバイスを受けながら、自ら課題とする分野の研究を進め、その結果を論文の形にすることで、自立的に研究成果をまとめます。この科目は、自分自身の確かな問題意識を基に、それを追求するための方法や関連分野の既存研究についての基礎的な知識を持っていることを前提としており、論文等課題選考（面接選考含む）の合格、一定数以上の単位修得を履修条件とします。なお、別途開講する「論文・レポート作成基礎Ⅰ」「論文・レポート作成基礎Ⅱ」「社会福祉調査論」を研究論文作成のための導入科目として位置づけており、必修ではありませんが本科目を履修するうえで、事前の履修を推奨します。

2. 履修条件

2026 年度に「研究論文指導」を履修するためには、履修年度開始時すなわち 2026 年 4 月時点において、以下の条件を満たす必要があります。

- ・正科生であること
- ・4 年生以上であること
- ・卒業単位 92 単位以上を修得していること
- ・前年度において課題選考・面接選考に合格していること

履修年度開始時において上記が満たされない場合は履修することができません。「前年度において課題選考・面接選考に合格していること」についての詳細は、3. 以降を参照してください。「研究論文指導」の履修期間は原則在学中 1 年間であり再履修は認められません。なお、教員 1 名につき、履修定員を 6 人程度までとします。

3. 論文課題選考等のスケジュール

<論文課題選考対象者>

「研究論文指導」の履修希望者[履修制限（2026 年 4 月時点）：4 年生以上、92 単位以上の修得、正科生に限る]

<指導の流れ・スケジュール>

①	【nfu.jp】の「リンク」 確認	研究論文指導概要、選考課題の提示	2025 年 3 月 14 日(金)
②	事前教育	○「論文・レポート作成基礎Ⅰ」 ○「論文・レポート作成基礎Ⅱ」 ○「社会福祉調査論」	詳細は、6. 参照
③	課題による選考	○指導教員選択（学生） ○課題提出（担当を希望する指導教員による選考） ○書類選考[共通課題、指定課題（任意）] ○面接選考	【課題提出期間】2025 年 10 月 17 日(金)9:00 ～10 月 31 日(金)17:00 【面接選考日】 ■美浜キャンパス：2026 年 1 月 10 日(土)、11 日(日)、 24 日(土)、25 日(日) ■名古屋キャンパス：2026 年 1 月 17 日(土)、18 日(日)、 24 日(土)、25 日(日) ※面接選考日程は担当教員の業務状況により、別途設定する 場合がある。

④	最終合格者確定	個人通知	2026年2月16日(月)
⑤	個別指導(指導教員) 期間:1年間 (2026年4月~)	研究論文指導(個別指導、少人数 での面談、メール等) 指導教員による論文作成の個別指導 ○中間報告 ○論文提出 ○「2026年度研究指導論文集」 掲載	【中間報告】2026年10月16日(金) 【論文提出】2027年01月22日(金)9:00 ~2月5日(金)17:00

4. 指導教員の選択と課題による選考について

教員によって指導分野や指導方針が異なるため、別紙「指導分野、指導方針と指定課題について」を参照した上で、履修希望者は指導教員を選択してください。この選択では第1希望と第2希望の指導教員名を、それぞれ該当する部分に記入して頂きます。ただし、第2希望の指導教員については、履修希望者が当該教員を選択する場合のほかに、当該教員を選択せず、その選択を福祉経営学部(通信教育)教授会に委任するか、その選択を放棄することができます。選択を委任する場合は第2希望の指導教員名を記入する部分に「福祉経営学部(通信教育)教授会に委任」と記入し、選択を放棄する場合はその部分を空欄にして頂きます。

別紙「研究計画書の書き方」と「指導分野、指導方針と指定課題について」を参照して、履修希望者は別紙の「共通課題」と「指定課題」の書類を作成し、提出します。提出された書類は、「合格、判断保留、不合格」のいずれかで評価されます。第1希望と第2希望の教員を履修希望者が選択している場合と第2希望教員の選択のみを福祉経営学部(通信教育)教授会に委任している場合には、まず第1希望教員が審査を行い、「合格、判断保留」のいずれかで評価します。同教員によって「判断保留」となった場合には、第2希望教員が審査を行い、「合格、不合格」のいずれかで評価します。第1希望の教員のみを選択し、第2希望の教員の選択を放棄している場合は、第1希望教員のみ審査となります(この場合は、「合格、不合格」いずれかの評価になります)。

教員によって指導するテーマが異なり、審査基準の詳細も異なるため、第1希望教員によって「判断保留」となっても第2希望教員によって合格となる場合があります。全ての教員の審査基準として共通している点は2点です。希望教員が指導するテーマであるかどうか、テーマにそって研究を開始し遂行できるだけの考察をしているかどうか、です。

書類選考に合格すれば、面接選考に進みます。面接選考に備えて、希望教員からさらに追加的な課題が示される場合もあります。面接選考の後、最終的な可否判定は教授会によって行われます。

5. 「研究論文指導」履修上の注意

①指導について

「研究論文指導」の指導方法、場所、時期等はそれぞれの担当教員の指示に従ってください。教員によっては面談等による対面指導などを実施する場合があります。なお、対面指導の場合、原則として本学キャンパス(美浜キャンパスもしくは名古屋キャンパス)で行います。

②評価について

研究論文の提出をもって評価を行い、単位認定します。評価は、それぞれの担当教員が審査し、教授会で認定します。

③毎年度、単位認定された論文を研究論文集として冊子化します。「研究論文指導」の履修をもって、研究論文集の製本および当年度と次年度の履修者に配布されることを許諾したものとみなします。

④費用について

「研究論文指導」はその科目の体系から、単位授業料とは別に研究論文指導受講料(年間50,000円)が必要になります。

⑤すでに(2025年度段階で)4年生に在籍し、卒業条件を満たしている方の履修について

卒業期日延期の手続きをすることにより、履修が可能となります(卒業延期手続きについては、『学習ガイド2025年度』をご参照ください)。社会福祉士・精神保健福祉士国家試験合格者は、卒業延期をすると、卒業していないため合格が取り消されますので、留意してください。(⑤参照)

⑥2025年度卒業生される方の履修について

2025 年度に課題選考・面接選考を受け合格した方で、諸事情により 2025 年度一旦卒業しなければならない場合は、選考試験の合格をそのまま引き継ぐことができますので、2026 年度【第 2 期出願期間】までに「正科生」として出願をしてください。

⑦2025 年度科目等履修生の方で 2026 年度「研究論文指導」の履修を希望される方

2025 年度に科目等履修生として、2026 年度「研究論文指導」の課題選考・面接選考を受けることができます。合格した場合は、2026 年度【第 2 期出願期間】までに「正科生」として出願をしてください。

6. 「研究論文指導」導入科目について

研究論文作成のための導入科目として、「論文・レポート作成基礎Ⅰ」「論文・レポート作成基礎Ⅱ」（スクーリング科目）「社会福祉調査論」（テキスト科目）を開講します。「研究論文指導」履修における必須条件ではありませんが、「研究論文指導」を履修するうえで事前の履修を推奨します。

科目名	概要	日程	会場
論文・レポート作成基礎Ⅰ	「2025 年度スクーリング科目概要」参照	5/24(土)～25(日) 5/31(土)～6/1(日)	オンライン：Zoom（定員 60 名）
論文・レポート作成基礎Ⅱ		9/13(土)～14(日) 9/20(土)～21(日)	オンライン：Zoom（定員 50 名）
社会福祉調査論	社会調査の意義と目的及び方法の概要について理解する		

7. 「研究論文」統一様式

項目	仕様	項目	仕様
サイズ	A 4（縦向き／横書き）	表紙・目次	表紙（指定様式）と目次を必ず付けてください。 <表紙>（指定様式） ①論文タイトル②学部・学科名 ③学籍番号④執筆者名 <目次> ページ番号は記入しないでください
字体	本文：MS 明朝 見出し：MS ゴシック		
枚数	20 枚以上		
ページ設定	40 文字×35 行（ページ番号は不要）		
使用ソフト	Microsoft word2013, 2016, 2019 (pdf 不可)		